

【案件概要】

ルワンダ県聖アガサ女子中高等学校における女子寮建設計画

1. 計画の概要

被供与団体	聖アガサ女子中高等学校
供与額	73, 883米ドル
署名者	カトンゴレ・ケレソン(校長)
計画名	ルワンダ県聖アガサ女子中高等学校における女子寮建設計画
実施地	ルワンダ県ハムルワ準郡(ウガンダ西部)
供与内容	女子寮, 水浴室棟, 家具(2段ベッド)
贈与契約署名日	2017年1月17日

ウガンダ南西部に位置するルワンダ県は、2016年7月にカバレ県から分離独立した新しい県です。同県ハムルワ準郡に所在する聖アガサ女子中高等学校は、1987年に設立された政府支援学校であり、2016年現在、教員40人が所属し、中学1年生から6年生(注:当国の中高等学校は6年制)までの女子生徒577人の生徒が通う県内唯一の女子中高等学校です。同校では増加する生徒数から寮不足が深刻化しており、2014年に学校と保護者により100人収容の女子寮を建設しましたが、依然として女子寮が不足している状況です。女子寮に入ることができない女子生徒は、毎日片道5キロ以上の道のりを登校しており、通学の道中で待ち伏せをしている不審者から性的被害を受けることも少なくありません。また、山岳地帯に位置する同地では、雨季になると徒歩で通学することがほぼ不可能になります。これらの通学による問題により、中退する女子生徒が毎年30人前後発生しており、全生徒数の増加に比して更に増える傾向を示しています。本計画では、女子寮及び水浴室棟を建設し、家具を整備することで、聖アガサ女子中高等学校の女子生徒577人の生活環境及び学習環境が大幅に改善されます。

2. 贈与契約署名式

2017年1月17日、在ウガンダ日本国大使館において、亀田和明大使とカトンゴレ・ケレソン校長の間で贈与契約が署名されました。[プレスリリース\(英語\)](#)

